

おいしいお餅ができたよ！

令和2年

第112号

1月29日発行

ゆがわ議会だより



表紙：ゆがわ幼稚園もちつき（12月11日）

主な内容

- ◆ 12月定例会提出議案審議 P 2～4
- ◆ 小中学生が本会議を傍聴 P 5
- ◆ 意見交換会・新議員あいさつ P 6～7
- ◆ 一般質問（7議員が村政を問う）..... P 8～14
- ◆ 委員会報告 P 15
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 P 16

議会改革特別委員会報告

12月
定例会

村議会では、一昨年の12月定例会において議会改革特別委員会を設置し、議長から諮問があった、議員定数、議員報酬、常任委員会のあり方について、7回に及ぶ特別委員会を開催し、12月定例会で報告しました。

なお、今後の新たな動きについては、逐一議会だより等でお知らせいたします。

1. 議員定数は、現在の10名から1名減の9名とし、適用は令和3年に行われる一般選挙からとする。なお、村民の意見を行政に反映させ、議会の機能維持を図るためには定数10名は必要とのことから、現状維持が望ましいという意見もあった。
2. 議長、副議長及び議員の報酬について、来年度よりそれぞれ月額30,000円加算する。また、委員長手当として月額5,000円を新設する。なお、適用時期は次期一般選挙に合わせるべきとの意見もあった。
3. 総務文教と経済の2つの常任委員会の在り方については、まずは、執行部（村長・教育長部局）の行政組織機構が現状のままでいいのか、当局に再確認し再度全員協議会で議論すべき。

これまでの定数の推移

年 月	内 容	年 月	内 容
昭和32年 3月31日	湯川村発足	昭和44年 5月	定数18人→16人
昭和32年 5月	定数22人	昭和54年11月	定数16人→14人
昭和36年 3月	定数22人→18人	平成16年12月	定数14人→10人

これまでの議員報酬の推移

議員報酬改正年月日	議員報酬月額	
平成元年 9月21日	議 長	166,000 円 ⇒ 189,000 円 (+ 23,000 円)
	副議長	137,000 円 ⇒ 156,000 円 (+ 19,000 円)
	議 員	124,000 円 ⇒ 140,000 円 (+ 16,000 円)
平成 4年 3月12日	議 長	189,000 円 ⇒ 209,000 円 (+ 20,000 円)
	副議長	156,000 円 ⇒ 173,000 円 (+ 17,000 円)
	議 員	140,000 円 ⇒ 155,000 円 (+ 15,000 円)
平成 7年 3月14日 ※現在に至る	議 長	209,000 円 ⇒ 242,000 円 (+ 33,000 円)
	副議長	173,000 円 ⇒ 200,000 円 (+ 27,000 円)
	議 員	155,000 円 ⇒ 180,000 円 (+ 25,000 円)

12月定例会が12月13日から19日までの7日間の会期で開催されました。

村長から提案された条例改正をはじめ、補正予算や過疎地域自立促進計画の変更、議員提出議案など、22件が審議され、すべて原案どおり可決されました。

また、16日・17日の2日間行われた一般質問には、7名が登壇し三澤村政について問いました。

さらに、昨年の12月に設置された議会改革特別委員会から、議員定数、議員報酬、常任委員会の在り方について議長に報告されました。

議案の主な内容

議案第72号 会計年度任用職員との給与及び勤務時間等の条例改正【原案可決】

1 会計年度任用職員制度の概要

これまでの臨時職員は
会計年度任用職員へ移行
（休暇や処遇面も改正）

地方公務員法・地方自治法が改正され、臨時的任用職員・非常勤特別職員任用が厳格化されました。

なお、任用制度の趣旨に沿わない臨時職員や嘱託職員は、新たに設けられた会計年度任用職員（4月1日から翌年3月31日までを超えない範囲内で雇用される非常勤の職）に移行されます。

2 主な改正内容

(1) 非常勤特別職任用の厳格化

特定の学識・経験を必要とする職や選挙管理委員会

委員、省令で定める者の職にのみが非常勤特別職として任用されることになりました。

そのため、この条件に合致していない区長や集落公民館長、交通教育専門員、農事組合長、保健委員、社会体育推進員などは、非常勤特別職から外れることになりました。区長職や集落公民館長職がなくなるわけではありません。

(2) 臨時的任用の厳格化

臨時的任用は、災害発生時など正規職員を補充するまでの間の任用や、産休代替職員など1年以内に廃止されることが予想される職の場合などにのみ適用されることになりました。

(3) 改正の具体例

●「賃金」↓「給料・報酬」として支給

●期末手当（ボーナス）の新設

●有給休暇・特別休暇の取得可能

●分限・懲戒・守秘義務・人事評価の適用

議案第82号 一般会計補正予算（第5号）【原案可決】

既定の歳入歳出それぞれ1119万円を追加し、歳入歳出予算の総額を27億5781万円とするものです。

主な内容

・空き家改修事業補助金

100万円

・台風19号義援金

100万円

・松川住宅修繕費

44万円

・保育所増改築工事請負費

130万円



建築後約25年を迎えた松川住宅



増築がほぼ完了した湯川村保育所（調理室）

議案第89号 一般会計補正予算（第6号）【原案可決】

人事院勧告に基づき、職員の給料、職員手当等及び共済費について、増額するものです。

議員提出議案第5号 看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める意見書について【原案可決】

医療・介護の深刻な人員不足を解消するため、看護師及び介護従事者について、全国を適用対象とした最低賃金（特定最賃）を新設し、賃金の地域間格差の解消と底上げをはかることを国の関係機関に意見書として提出するものです。

傍聴者の声

佐瀬 彌（浜崎）

今回、新庁舎が落成後初めて議会傍聴をしました。

旧庁舎時代の議場と比べて設備・環境のすばらしさに隔世の感を抱きました。

この素晴らしい議場で執行部の皆様、議員の皆様がより良い湯川村づくりのため実りある議論展開されることを望みます。ただ、議事の進行を傍聴する中で感じたことは質問事項も多岐にわたり細部にまで至れない点もあるのかもしれませんが、答弁も抽象的表現が多く、日々の動きのある行政環境の中で、一番大切な『何を、いつまでに、どのようにするのか』の具体的な応酬が少なかったことが残念に思います。

また、女性議員が一名だけなのは一寸淋しく感じました。

第531回 11月臨時会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
議案 番号	件名	賛否	小 沢 甲 市	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	高 倉 好 博	菅 沼 弘 志	小 野 澄 雄	小 林 孝 一	小 野 淳 一	篠 竹 正 弘	斎 藤 賢 一
71	令和元年度湯川村一般会計補正予算（第4号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

※議案の内容は、台風19号による稲わら除去対策事業に係る国の産地緊急支援対策補助金400万円を計上するものです。

第532回 12月定例会における議員の賛否の公表

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
議案 番号	件名	賛否	小 沢 甲 市	片 桐 英 子	三 澤 榮 三	高 倉 好 博	菅 沼 弘 志	小 野 澄 雄	小 林 孝 一	小 野 淳 一	篠 竹 正 弘	斎 藤 賢 一
72	会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
73	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	×	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
74	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
75	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
76	湯川村保育所条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
77	湯川村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
78	湯川中学校エアコン設置工事変更請負契約について	可決	○	○	○	○	×	欠	欠	○	○	議長
79	湯川村保育所増改築等工事変更請負契約について	可決	○	○	○	○	×	欠	欠	○	○	議長
80	村道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
81	過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	×	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
82	令和元年度湯川村一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
83	令和元年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
84	令和元年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
85	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
86	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	欠	欠	○	○	議長
87	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	欠	欠	○	○	議長
88	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
89	令和元年度湯川村一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
90	令和元年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
91	令和元年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
92	令和元年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長
議員提出議案 第5号	看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

小中学生が本会議を傍聴



傍聴する笈川小6年生

笈川・勝常両小学校の6年生と湯川中学校の3年生が12月議会定例会を訪れ、一般質問を傍聴しました。

皆さんからいただいた感想文の一部を紹介いたします。

湯川村議会関係の皆様

十二月二十三日

笈川小六年 谷ヶ城 奏



令和最初の年もあと一週間となりました。
 先日は議会を見学させていただき、ありがとうございました。
 私は議長さんが議会を進めたり、質問や回答を整理して伝えたりされていることが分かりました。そして、教育長さんがおっしゃっていた家庭でも本を読むこと、新聞を読むこと、メディアコントロールをすること、この三つをがんばっていきたいと思いました。
 議会関係の皆様、本当にありがとうございました。



湯川村議会様
 (湯川村議会を見学して)

先日は、お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。
 私は、議会の流れが分かりました。そして、その質問と回答のやり取りが分かりました。また、道の駅や勝常寺などに、たくさんのお客さんが来るといことも聞いてうれしかったです。議員さんが答えていたように、ぼくも道の駅周辺の開発をしてほしいと思いました。また、勝常寺の国宝などの文化を紹介した企画をすることも、たくさんの人に村の文化を知ってもらえるので賛成だと思います。また、全国や県、小・中一貫教育をしているのはいいけれど、聞いて、びっくりしたとて、おもしろい問題なのだと思います。

ぼくは、村議会見学が学んだことを、これからの学習に生かしていきたいと思います。

湯川村議会の皆様、お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。また、お越しいただき、ありがとうございました。また、お越しいただき、ありがとうございました。



勝常小学校六年 高田 賢真

題名『 湯川村議会を傍聴して 』

僕は今日の議会を見て、議員の方々が、いろいろと私たちのことを考えてくれていたのだと思いました。
 まず、この前の台風をうけて、防災無線を、つくろうとしていることが分かりました。また、ハザードマップを見たことがありませんでしたが、お赤だに聞いておどろきました。さらに、公務員の給料料が今の14倍つまり、1億3000万円くらいになることにも、とてもびっくりしました。今日の議題にもあったように、少子高齢化により、農業をしている人がかなり減っているのは、大変な問題です。2025年には国産の作物がとて少なくなるそうなので早く対応しなくてはならないと思います。今日の議会傍聴で、地方の行政はこのような行われているのだということが、分かりました。

3年 1組 16番 氏名 波多野 叶夢

題名『 湯川村議会を傍聴して 』

小中学生のときも傍聴したことがあり、今日で2回目です。小中学生のときは全然分からなくて、議会ってこんな感じなんだと思っていました。でも、今日久しぶりに傍聴してみて、感じたことが2つあります。
 1つ目は、今日で3つの議題をもち、よく話し合っていて、そのことについてみんなで解決しようとする姿がカッコいいと思ったことです。2つ目は、1つ1つの議題に対して、納得するまで質問し、村長さんが丁寧に答えている姿こそ、よかったです。湯川村にしていると思ったことです。傍聴して知らないワードが出てきて、全部を理解することはできなかったのですが、文章の作成において出てくる漢字・敬語をAIがチェックできるようにしたいということはとても素晴らしいと思います。
 少子高齢化が進んでおり、人口も減ってきているのが現状なので、その取組をする中で新たな第1歩になると思います。他の議員さんの傍聴したいと思いました。とても良い経験になったと思います。

3年 2組 1番 氏名 石田 愛奈



ノートに書き込む勝常小6年生

村民と議会の意見交換会

令和元年11月24日

議会では、信頼される議会を目指して、議会の活動報告と、村民の意見や提言等を直接聴取する機会として、毎年、意見交換会を開催しており、今年度は、「教育課題の現状と将来展望」と称して、「将来の小学校の姿」をテーマとし意見を取り交わしました。

交換会では、小学校統合に関する課題や将来の小学校の在り方について真剣に議論しました。

全体の意見として、「小学校統合について、早急に議論すべき」とする考えが多数ありました。いただいた意見は議会に取りまとめ、今後の議会運営、村政全般の課題としたいと思います。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。



参加者の意見

意見1

財政面、廃校の跡地利用など、総合的な検討をしないうちに、「統合はしません」というスタンスはおかしい。村には長期的な視野に立って考えてほしい。

意見2

統合に向けて当然進んでいるものと考えていた。早急に話を進めるべき。

意見3

子供の教育を考えれば、どんなに予算がかかろうと実施すべき。ロットが小さければ広い社会では通用せず、負けてしまう。メリット、デメリットを出し合い、メリットが多いほうに向けて早急に実施すべき。

意見4

地域から学校がなくなることの寂しさは理解するが、村民がどれだけのことを考えているかを意見として聞くことが大切。

意見5

子供は競い合ってなんぼである。10年先、20年先のことを考えて議論すべき。細かいことを言えば、図書館司書などはあったほうがいいし、ボランティアでの実施も検討すべき。いずれにしても、子供を宝と考えなければいけない。いずれは我々もお世話になるのだから、将来真っ暗になってしまう。1年生6人というクラスでは、教育環境としていいとは言えないのではないか。

意見6

財政面やプールの問題など、切り口は多数あるが、まずは子供の教育を最優先すべき。議論を進めなければいけない。

意見7

男性は変化を恐れる傾向があるように見える。女性はその辺をあまり気にしない。笈川、勝常の区別など関係ない。女性の意見を積極的に聞くべき。

亀ヶ代く勝常間 常設の防雪柵設置へ

一般県道熊の目・浜崎線の亀ヶ代から勝常間においては、冬期間における暴風雪により、視界不良や吹き溜まりができ、通学児童の安全確保や交通事故が心配されてきた。

村議会としても、両沼地方議会議員大会での決議を通じて、長年にわたり防雪柵の早期設置を県に要望してきたが、平成28年度から区間の一部に仮設の防雪柵が設置され、今年度に入り、ようやく常設の防雪柵が設置された。

議会や村当局の懸案事項が、要望によりようやく実現できた結果であり、安どしているところである。

今後もこのような危険箇所や心配される事例がある場合は、住民生活の安全安心のために引き続き国や県に要望していききたい。



新議員紹介



新議員
小沢 甲市
69歳
下樽川

この度、湯川村議会議員補欠選挙において議員となりました、下樽川集落の小沢甲市と申します。浅学非才ではありますが、湯川村発展と村民皆様の意見を第一にする村づくり、住んでよかったという村づくりに一歩でも前進できる活動を心掛け邁進してまいります。人口減少や高齢化により就農者の減少対策も喫緊の課題であります。また、地球温暖化の影響で自然災害が多発している昨今ですが、その為の地域防災の充実やこれから迎える団塊世代の後期高齢者の支援も課題になってきます。さらに、安心して生活できる環境づくりと交通網の利便性を生かした業者が定住できるような村づくり、村民が健康で明るい村づくりを目指していきたいと思っております。議会と行政が両輪となり未来を担う子供たち、若者のために、微力ではありますが、尽力をさせていただきますので、村民皆様方のご指導のほどよろしくお願いいたします。

村政を問う

一般質問

12月定例会

三澤 栄三
議員

問

村長選を顧みて、村民は大変心配している。そこで、村民が安心安全で豊かに暮らせる村づくりをどのように考えているか？また、令和が求める湯川村のトップリーダー像は？

答

村最上位計画の湯川村振興計画の施策の大綱にある基本5項目の内容を常に基本とし、諸課題に対応していく。また、リーダーとして次の3つの舵取りが必要と考える。

- ① AI（人工知能）の活用である。役場では、多くの文書を毎日作成しているが、誤字脱字のチェックや文章の校正等にAI化できれば効率化につながる。
- ② 近隣自治体間との連携強化である。今後は交流を推進し、自治体間で連携すべきことなどを検討していきたい。
- ③ 住民協働である。自助・

共助・公助を一般的な業務に広げていければと思う。民間団体を増やし支援していく政策を検討していきたい。

湯川ファーム社長、次期株主総会まで継続

問

株式会社湯川ファームの人事について、副村長が任期満了で退任したが、一番重要である社長の座をどのように考えているか？

答

11月26日に代表取締役を兼務している常法寺副村長が退任したが、臨時株主総会を開催し、湯川ファームの代表取締役については、次期株主総会（来年5月開催予定）まで有償で役職を継続することが決定された。

問

台風19号の豪雨、当地区においても水田が冠水し多くの稲わらの

被害に遭い、その除去事業を委託したその経緯を示せ。

答

村全体で約3.6ヘクタール分の堆積した稲わらがあり、それを除去するため、国の「産地緊急支援対策事業補助金」を活用する。村では、稲わら除去・集積作業を、株式会社湯川ファームに担ってもらうということとした。



水田に堆積した稲わら

問

10月28日、令和元年度湯川村戦没者慰霊祭が開催された。村の戦没者181名です。昨年、遺族が小田山忠霊堂に参拝したところ、笈川地区の戦没者の位牌がなかったとのことである。遺族会では予算がないので当局に力を貸して欲しいとのことであるが、村で助成する考えはあるか？

答

村では、戦没者遺族福祉事業により補助を検討しており、令和2年度の予算に盛り込むため、その負担額を協議中である。

戦没者位牌に対する助成予算化を



三澤議員の一般質問の様様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

小沢 甲市
議員

問 高齢者支援の向上対策について、2025年には団塊の世代が後期高齢者を迎えるにあたり、今後の取り組み、現在の高齢者支援について伺う。

答 支援事業として、高齢者の移動手段支援として「高齢者タクシー及び路線バス利用助成券」の交付、冬季暖房に必要な灯油購入に対し「灯油購入助成券」の交付を行っている。

**地区介護予防事業
24集落 358名参加
参加者は減少傾向**

問 介護予防事業については各集落で実施をしているが参加者が高齢のため年々少なくなっており、止まっている集落もあると聞いているが、これから継続していくための対策はあるか？

答 地区介護予防事業は、65歳以上の高齢



地区介護事業の様子（勝常地区）

者対象で、24集落で実施、358名が参加している。参加人数減少対策として年2回のボランティア連絡会を開催し、竹田総合病院の専門職の方や、地域包括支援センター職員による運動や体操の教授しボランティアの育成を行っている。さらに、集落単位ではなく村単位での介護予防教室の開催や、現在あるミニデイサービスの利用を推進していく。

問 会津湯川ファームの今後の取り組みについて、土地・建物の取得は喫緊の課題であると思うが、どのように進めていくのか？

答 まずは今後の湯川ファームの経営に係る基本構想を構築したうえで、施設整備計画等を策定し、建物の規模や管理体制等について明確にし、現在策定中の村農業振興ビジョンのなかに盛り込みたい。

問 利用権を設定した水田の管理を行うには、その集落に迷惑がかからないようにすることが責任を持って管理をする作業責任者が必要では？

答 当該集落から十分ご指導をいただき、細心の注意を払っている。現時点では、各集落における作業責任者の設置までは考えてはいないが、地域との間でのトラブルを起こさないよう関与していきたい。

中央公民館長設置を検討

問 会津管内で湯川村だけが中央公民館長不在であることだが、今後の社会教育活動を進めるためにも必要と思うが考えを伺う。

答 公民館長の設置は義務付けられており、会津管内で中央公民館長が不在の町村は本村のみである。公民館長を廃止したことによる弊害も表れてきており、中央公民館長をどのような形で配置することが良いか、関係機関の方々と意見や情報の交換を行い、最善の方法を模索していきたい。



小沢議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

高倉 好博
議員

問

地域の特性を生かした活力ある村づくりのために考えていることは何か？

答

現在村で進めている道の駅事業は、開業後順調に営業成績が推移しており、若者定住促進に向けた湯川ニュータウン「穂花(ほのか)」も、定員の2倍を超える申し込みがあり、本村はおおきに活気づいている。

真に村民の意向を反映した施策となるような、活力のある村づくり、地域づくりを進めるためには、村民自らが積極的に事業に参画していただけるよう意識づくり・しくみづくりに努め、様々な施策を展開していかなければならない。

第五次湯川村振興計画の基本構想に掲げた村民と行政の協働の場の設定を模索し、活力あるむらづくりを行っていききたい。

幼小中一貫教育は

「連携」に重点

問

選挙公約にもあった「幼・少・中一貫教育を目指す」という内容はどんなものか？

答

村教育委員会では、幼小中一貫教育を将来の目標としながら、現在は「連携した教育」に重点を置いた教育活動を展開している。小学校と中学校の関係だけでなく、幼稚園あるいは、その先の保育所まで包括した、保・幼・小・中の15年間をつなぐ「ゆがわっ子育てプラン」の策定を進めているところである。

社会教育の充実

「ひとり・いち学習」を！

問

社会教育の充実のために考えていることはなにか？

【教育長答弁】

答

「地域を元気づける」ために、次の3つの社会教育活動に力を入れているところである。

1 1つ目は、子供たちである。昔から盛んなスポーツ少年団活動の支援や「子供は地域で育てるもの」との考えに立ち、地域学校協働活動を積極的に推進していく。

2 2つ目は、若者の活用である。市町村対抗の野球やソフトボール大会・駅伝や村民運動会など、スポーツ活動を通して、同じ趣味を持つ若者同士が集まり、村民相互のコミュニケーションが積極的にとれるように努めていく。

3 3つ目は、成人・高齢者の積極的な活用である。人材バンク登録名簿の整備や社会教育主事・社会教育指導員の2名が、住民のニーズにあった新しいプログラムの作成に日々取り組んでおり、様々な講座や教室・

スポーツ大会を通して、村民一人一人が「ひとり・いち学習」に取り組めるような社会教育活動を今後も積極的に展開していきたい。



社会教育事業(おはなし教室)の様子



高倉議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

片桐 英子
議員

家庭保育支援金創設については今後も調査研究が必要

問

家庭保育支援金の創設について、3月

議会では「家庭保育支援金は子育て支援の推進として重要。事業効果・財源・課題等を十分に精査し、調査研究していく」と回答している。0歳児での保育所入所希望者が多いようだが、支援金があれば経済面では育休を取得しやすくなり、家庭保育を選択する方も増えると思われる。調査研究の結果及び見解を伺う。

答

支給を実施している自治体の支給要件は、育児休業給付金を受けられていない方へは、生後2ヶ月～1歳になるまでに月額30,000円を、満3歳未満までに月額10,000円を支給する例が多い。

仮に本村で現在の支給対象者に支給すれば、年間6,

900,000円の財源が必要となり、支援金創設については、今後更に財政面を含め調査研究が必要である。



増築が完了した湯川村保育所（保育室）

問

幼稚園給食業務委託契約書には、保育所給食の趣旨を十分認識しとあるが、誰が、いつ、どのように指導監督するか

答

村の指導・監督は、毎日の献立内容の確認や検査の実施、村栄養士

による使用食材・調味料のチェック等、幼稚園職員・村栄養士を中心としたきめ細やかな確認を行っている。また、定期的に試食会を開催し、質の向上に努めている。

※来年度より村栄養士は正職員からパートの管理栄養士になるが、今までの役割は担えると考えている。

図書館司書配置より図書室環境整備を優先

問

学校図書館司書の設置について、6月議会では、「29年度末の答弁のように配置要綱（案）の内容を関係機関と再度検証したい」という回答であった。おりしも世界学力テストでは、読解力の更なる低下が判明した。司書設置や読書行為が即読解力アップになるわけではないが、一助になると思う。努力義務でもあり見解を伺う。

答

村内の小中学校に学校図書館司書を配置することにより、児童生徒の読書活動や学習活動などに良い効果が期待できることは、十分に予測できる。しかし多くの臨時職員を雇用している中で、司書設置の可否順位は上位ではない。司書配置のみに頼ることなく、学校図書室の環境整備、新刊図書の購入、家庭における読書の習慣付けなど、児童生徒の読書力の向上に向けた様々な施策への取り組みについても検討している。

※社会教育関係団体で検討されたが、学校側は司書設置を望んでいる。



片桐議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

篠竹 正弘
議員

問 台風19号による水害を踏まえ、水田等への災害に対し、どのような対策を考えているか？

答 先の台風19号では、村内数箇所水田の冠水があり、排水樋門の管理面で反省すべき点があった。

村としても今回の災害を教訓とし、管理体制の見直し等について土地改良区と協力しながら、同じような災害が起こらないよう改善し、ハード面も関係機関等と可能な限り協議していきたい。

避難等に係るタイムライン 来年度完成予定

問 河川水位が警戒レベルに達した場合の避難等に係るタイムラインは整備されているか？

答 避難等に係るタイムラインは、現在策

定を進めているが、完成には至っていない。

万が一の事態にも迅速な対応が行えるよう、来年度に完成に向け進めてまいります。

問 村内避難場所、避難所の一覧はあるが、今後各集落、集会所を一時避難場所に対応できる体制にすべきでないか。備蓄品情報網整備等を含め伺う。

答 各集落の集会所を一時避難場所とする体制については、災害の種類によっては、有効とされる場合もあり、防災行政無線を活用し情報伝達を行っていききたい。備蓄品については役場に保管しており、緊急時には役場から各集落公民館へ配布する。

県道浜高線浜崎地区バイパス工事 踏切存続のための交通量調査実施

問 道路交通網の整備について、県道浜崎地区バイパス工事の進捗状況について伺う。

・高野・会津若松線の浜崎地区バイパス工事の進捗状況について伺う。

答 県は今年3月にJR東日本株式会社仙台支社と打合わせを行い、まずは、立体交差計画の実現性を相互に確認した上で、現在の計画である平面交差計画を協議するよう求められたとのことである。

なお、殿松踏切の存続については、従前からのJRの方針のとおり受入れられず、JRに対し事業の必要性を説明するため、当該箇所周辺の交通量調査を今後実施する予定と聞いている。

その結果を踏まえて、JRとの協議をどの様に進めていくか検討し、今後具体的

的な方向性について、まずは村に相談するとしているが、村としても、県に村及び浜崎区の要望及び現状を伝え、引き続き県と連携しバイパス工事の具体的方向性が図れるよう取り組んでいきたい。



置賜踏切（浜崎地区）



篠竹議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

12月定例会

小野 澄雄
議員

防災行政無線の取り組みは屋外スピーカー9台・戸別受信機で防災強化

問 災害教訓を生かした防災取り組みの中で、防災行政無線整備を中心としたハード事業とソフト事業での取り組みについて伺う。

答 令和2年度に整備予定の防災行政無線については、屋外スピーカーを、村内9か所設置、戸別受信機を、全戸に配付予定である。

災害時には、Jアラート（全国瞬時警報システム）等とも連動し、避難指示や避難勧告等の緊急連絡も行う予定である。

家族農業・小規模経営への支援は、支援拡大

問 2025年農業問題に関連し、安定した農業所得確保、家族農業・小規模経営の支援についてについてどのように取り組んでいくのか？

答 農業振興策において、家族農業・中小規模兼業農家の支援も検討していき、中長期における村農業の課題解決を促えた、



防災行政無線の音響範囲

問 会計年度任用職員導入に絡む制度設計において、継続性や専門性が求められる職の対応をどのようにお考えか？

答 令和2年4月から、これまでの臨時職員は「会計年度任用職員」と名称が変わり、任用根拠が明確化され、服務規律等も整備される。

会計年度任用職員は任期ごとに能力実証（試験や面接）を行い、選考は公募で実施する。

問 勤務体系や業務の在り方等、任用根拠の明確化に重点を置かれている。会計年度任用職の設定にあつては、職の必要性や適正な人材配置等、行政のスリム化が必要である。公務運営についての考えは？

答 「フルタイム」と「パートタイム」に分類され、「守秘義務・懲戒・分限」等が適用される。

また、効率的な行政運営についても、検討していきたい。

教育改革への対応は、来年度から英語教育・プログラミング教育を開始

問 教育改革に伴う対応と将来への方向性について、英語教育とプログラミング教育への対応は？

答 英語教育は、来年度からALT2名で対応するよう検討している。また、村では今年8月に各学校のパソコンを更新し、プログラミング教育に必要な環境を整備した。また、先生を対象に研修会を開催し、授業の中で、積極的にプログラミング教育を取り入れるように各校に指示している。



小野議員の一般質問の模様を上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う 一般質問

菅沼 弘志
議員

12月定例会



問 箕川・勝常両小学校の統合と幼少中一貫教育について

答

小学校統合問題については、村民の総意を得るまでには多くの時間を要し、財源の確保も当然必要なもので、より多くの村民からの意見を聞く機会を設け、様々な観点から正確な情報の発信に努め、他地域の実例も参考にしながら意見の集約・分析に取り組んでいきたい。

村の総合的な教育ビジョンを策定・検討する中で、「幼小中一貫教育」があるものと認識しており、小中一貫教育を実現するためには、高いハードルがあり、現在、「連携した教育」に重点を置き、保・幼・小・中の15年間をつなぐ「ゆがわっ子育てプラン」の策定を進めている。

**防災行政無線により
災害情報を提供して
いく**

問

台風19号は、福島県内に未曾有の風水害をもたらした。既に策定されている「地域防砂計画」にも関連して、地域防災計画の見直し、台風19号の被害対策について伺う。

答

地域防災計画見直しと合わせ、水害が起きた際に発生する状況を予測し、防災行動と実施主体を時系列で整理する水防タイムラインや、業務継続計画、災害時対応・避難基準マニュアルを策定し、激甚化する自然災害への備えを固めていく。

また、ホームページや防災行政無線を用いた定期的な災害見込み情報等の提供や、避難勧告発令を待たずに避難所を設置するなど、予想される災害に対する早期対応を実施したいと考えている。

**ふるさと納税財源
一部を農家支援以外
に充当の考え**

問

これまでに実施してきた「ふるさと納税」事業について検証が必要な時期に来ていると思うので、「ふるさと納税」財源の使途、農家支援の在り方について伺う。

答

農業支援を行う湯川ファーム機械設備の充実、湯川米ブランドを確立するために実施する栽培法、例えば、特別栽培米やエコ米対策に取り組む農家の肥料代に対する助成を行うことなども合わせて考えている。また、寄付金の一部を農業支援以外の分野にも一部充たしたいという考えもある。

ふるさとの納税における農家支援として、本年度については、一律農家助成という形はとっていないが、年度の農業情勢に応じ、その都度農業支援のあり方について検討していきたい。



菅沼議員の一般質問の
模様を上記QRから
動画でご覧になれます。



今年も全国へ湯川米を発送

各委員会研修報告

総務文教常任委員会先進地 研修報告（10月17日千葉県印西市）

総務文教常任委員長 高倉 好博

今まさに湯川村でも注目されている小中学校統合について、千葉県は印西市に行政視察に行ってきました。印西市は印旛村及び本埜村の編入合併をし、現在は十万人もの市であります。

そんな大きな市でも学校統合がなされていると聞き、その実態を調査してきました。その項目を挙げてみますと、

- ・ 統合の検討にいたったきっかけについて
- ・ 統合検討から事業実施までの経緯について
- ・ 児童生徒数の推移について
- ・ 学校適正規模の考え方について
- ・ 建設経費について

など、議論を交わしてきました。中でも統廃合するうえでの課題となったことは統合までの準備期間が十分に取れない状況がある。また、一番身近なところで保護者や地域の反響は閉校に抵抗感があり統合に慎重な考えを持っていることがわかりました。と同時に統合後の施設等の跡地

活用に高い関心があるとの意見でありました。このような大きな市でさえも学校統合という問題に直面していることを目の当たりにし、それには多くの時間を要することを実感してきました。

わが湯川村も前向きに、かつ慎重に物事を考えていかななくてはと、思った次第です。



千葉県印西市にて

議会運営委員会先進地研修 報告（11月14日茨城県美浦村）

議会運営委員長 小野 澄雄

「議会へのタブレット導入による活用について」

茨城県美浦村は、首都圏迄60kmに

位置し、都市近郊という立地条件を生かし、都市との交流が盛んである。また、豊かな自然環境に恵まれ、霞ヶ浦を中心とした稲作や野菜の栽培、日本中央競馬会の競走馬のトレーニングセンター等々、観光資源を活用した産業の育成・企業誘致等に積極的な「人と自然が輝く」村である。

村は役場と議会がより速やかに情報を共有し、タブレット端末を通して経費削減を目指している。以下、その歩みを伺った。

H23年 東日本大震災を契機に、さらに災害に強い情報連携システムを構築。議会にもICT機器導入が始まる。

H25年 議員向けの端末の基本的な講習会を実施。

H26年 各議員、各課長にタブレット配布（現在60台）

学校教育において、一人1台パソコン整備。

H27年 完全ペーパーレス化を目指す。学校にタブレット整備、ICT支援員を全校に配置し、プログラミングロボット作成。中学校では毎年プレゼンテーションを実施している。

このような取り組みを視察し、災害へのいち早い対応、情報システムを取り入れることによる煩雑な各種書類や予算書をデータ化し、より経

費削減に努める姿勢は、地域発展に大きく貢献している取り組みとして大変刺激を受けた。

また、予算配分、住民サービス、将来に向けての「村づくり」が重要であり、重点施策に対する予算編成においても、大きなメリハリが感じられた。

近年の社会情勢の変化、頻発する異常気象の今日、改めて、議会の監視・政策提言等、議会の役割の重要性を痛感させられた有意義な視察となり、今後に生かしたい。



茨城県美浦村にて

湯川村議会の主な動き

- 10月17日 広域圏議会
総務文教常任委員会視察研修（印西市）
- 23日 広報広聴委員会
- 24日 広域圏議会
- 26日 湯川中学校創立60周年記念式典並びに紫陽祭
- 27日 秋季連合検閲 **写真**
- 11月 1日 第32回議員大会決議事項福島県要望
戸ノ口堰土地改良区五穀豊穰感謝祭
産業文化祭
- 3日 定期監査（～11日）
- 6日 老人クラブスポーツ大会
- 8日 議会全員協議会
- 10日 防火パレード
- 11日 定期監査（3日目）
- 12日 第32回議員大会決議事項中央要望
- 13日 町村議会議長全国大会（東京都）
第6回議会改革特別委員会
第31回市町村駅伝競走大会湯川村選手壮行会
- 14日 議会運営委員会視察研修（～15日・美浦村）
- 15日 新過疎法制定実現総決起大会（東京都）
- 17日 第31回市町村駅伝競走大会応援 **写真**
- 19日 議会運営委員会
- 22日 第531回湯川村議会臨時会
- 23日 会津若松市市制120周年記念式典
- 24日 村民と議会の意見交換会
- 28日 湯川村戦没者慰霊祭
- 30日 ゆがわ幼稚園発表会 **写真**
- 12月 3日 第14回暴力団根絶坂下地区町村民大会（柳津町）
湯川村自治功労者表彰式
- 6日 議会運営委員会・議会全員協議会・議会改革特別委員会
- 7日 ウィンターイルミネーション点灯式 **写真**
市町村野球・市町村ソフトボール解団式
- 8日 婦人消防クラブ総会
- 13日 第532回湯川村議会定例会
- 25日 広域圏臨時会
- 1月 6日 新春のつどい **写真**
- 9日 知事懇談会（知事公館）
- 12日 消防出初式



秋季連合検閲



ふくしま駅伝応援



幼稚園発表会



イルミネーション点灯



新春のつどい

編集後記

近年まれな雪のない正月を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

この会津には、雪が少なく、勢いがあります。ご存じのとおり私から申すまでもなく、除雪やスキー場関係者、灯油配達、酒蔵などにお勤めの方々です。

それだけこれまでになく、生活と生業（なりわい）、場合によっては趣味の世界を重ね合わせながら頑張ってきたのだと思います。

さて、雪が少ないといえ、当村にとって心配されるのが、田んぼの水不足であります。平成六年や三年前には大変な水状況が見られました。降るときには降っても、降らないと自然の生態系が狂ってきます。豊作であることを切に願っています。（菅沼弘志）

議会広報広聴委員会

高菅小	片	篠	
倉沼林	委	桐	副
好弘孝	員	英	委員長
博志一	子	弘	